

平成 30 年度 第 1 回伊勢市スポーツ推進審議会 会議録（概要）

平成 30 年 6 月 21 日（木）午後 7 時

小俣公民館 1 階 第 1 会議室

出席委員：小木曾一之会長、龍田 洋副会長、北村 峯記、中西 武寿、奥田 守、
小嶋 幸博、中辻 浩行、井村 千賀子、田村 善保、平沼美智子、
立花 和子、豊島 久雄

事務局：大西 要一 事務部長、沖塚孝久スポーツ課長、廣 俊明スポーツ
振興係長、日置純子スポーツ施設係長

1 あいさつ（伊勢市教育委員会 事務部長 大西 要一）

2 協議事項

(1) 第 2 期伊勢市スポーツ推進計画の平成 29 年度取組結果と平成 30 年度
実施計画について

<質疑応答>

1 市民スポーツ活動の充実について

○目標設定項目

・総合型地域スポーツクラブ会員数

質問：H30.1 現在で 3,684 人、H33 年度目標値が 3,500 人とあるが、どの
ような設定になっているのか。

回答：人口減少も加味して、3,500 人を下回らないようにしていきたい。

目標値を設定した時点では、3,174 人で、特に平成 29 年度は、増加
した。

2 関係団体の強化と連携強化について

○目標設定項目

・伊勢市スポーツ指導者バンクの登録者数

質問：これまでに派遣された実績はあるのか

回答：今のところはないが、今後短期的な結びつけも出来るように検討し
ます。

意見：マッチングが進むように、登録手続き分かりやすくしてほしい。

パソコンを使わない人にもわかるように。

- 意見：
- ・バレーボール協会と中学校との交流イベントがあったが、そのような機会も活用すると登録者が増えるのではないか。
 - ・中学校の部活動において、外部指導者に協力を頂いている学校もある。この場合は、指導できる種目や指導経験などを確認するが、特に資格は問わない。
 - ・総合型地域スポーツクラブも、地域の子供たちのスポーツ指導の役割を担えると良いと思う。
 - ・小学校については、必須クラブ活動があるが、活動時間も多くないので、種目の指導というより、子どもたちの教育支援に関わってくれる地域の方を求めている。
 - ・指導者バンクについては、市としても登録者の講習会等を開催してほしい。
 - ・障がい者スポーツの充実もしてほしい。

3 市民スポーツと関係団体とのかかわりについて

○心身の健康の保持増進

質問：健幸ポイントはどのくらい集まっているのか

回答：第3期定員1,000人のところ満員となっている。

4 スポーツ施設の利便性の向上について

○全国大会に向けた拠点施設の整備

意見：観光と連携はしているのか。どこでも合宿地の取り合いをしているので、伊勢市も出遅れないように。そのためには、ソフト面のサポートが必要（送迎、食事など）。それにより、リピーター獲得していく。

○老朽化施設の修繕と見直し

意見：誘客施設を整備してもらいたい。市民が使う施設も整備してほしい。

回答：誘客施設整備は別事業で実施しているので、目につくところであるが、他の施設についても、例えば、宮川スポーツグラウンドについては、除草、土の搬入など、日々の維持管理、修理等を行っている。今年度については、大仏山公園SCのキャンプ場整備、健康遊具の設置も予定している。

○適正な管理について

質問：今後の指定管理の進め方は？

回答：公共施設マネジメントに基づいて導入していく方向で考えている。

競技団体と話しながら進めていきたい。現在、当課では17施設をほとんど直営で管理しているが、指定管理を導入するには条例改正等の手続きのため、長い時間がかかるが進めていきたい。

○学校体育施設の有効活用について

質問：統廃合において、体育館の使用用途はわかるが校舎はどうなるのか？

回答：これについても公共施設マネジメントで定めていくことになる。